



## 2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月6日

上場会社名 株式会社ベルパーク

上場取引所 東

コード番号 9441

URL <http://www.bellpark.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川 猛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石川 洋

TEL 03-3288-5211

四半期報告書提出予定日 2019年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	76,959	7.5	3,288	43.9	3,317	43.7	2,223	47.8
2018年12月期第3四半期	71,585	15.0	2,285	24.7	2,308	24.6	1,504	34.4

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 2,218百万円 (47.3%) 2018年12月期第3四半期 1,505百万円 (34.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	346.72	—
2018年12月期第3四半期	234.60	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	42,016	23,072	54.9	3,597.41
2018年12月期	39,093	21,335	54.6	3,326.57

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 23,072百万円 2018年12月期 21,335百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	33.00	—	37.00	70.00
2019年12月期	—	38.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	60.00	98.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,000	0.9	3,700	14.6	3,700	13.6	2,500	18.2	389.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	6,732,600株	2018年12月期	6,732,600株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	318,997株	2018年12月期	318,902株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	6,413,683株	2018年12月期3Q	6,413,736株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの主な事業領域であります携帯電話等販売市場では、2019年10月の「電気通信事業法の一部を改正する法律」の施行に伴い、総務省により「通信料金と端末代金の完全分離」及び「行き過ぎた囲い込みの禁止」を実現するための詳細なルールが策定され、競争促進に向けた基盤の整備が進み、大手通信事業者各社からは新しいルールに対応した端末販売方式及び料金プランが始まる等、事業環境が大きく変化し始めております。

このような事業環境の中で、当社グループでは、前連結会計年度から取り組んできたソフトバンクショップのデュアルショップ化（ソフトバンクショップにおけるワイモバイルの取扱い）をさらに進め、両ブランドを取り扱うためのショップスタッフの教育に注力し、お客様により適した料金プラン及びサービスを両ブランドから提案できる店舗体制の構築に努めました。また、他の代理店からの承継等により、当第3四半期連結累計期間で当社直営キャリア認定ショップ数は24店舗増加しました。承継した店舗につきましては、収益の拡大を図るため、移転・改装等に注力するとともに、近隣の当社店舗との連携を図りながら、人材の採用・教育、最適な人材の配置を行いました。

これらの取組みにより、当第3四半期連結累計期間における携帯電話販売台数は、直営キャリア認定ショップにおいては新規契約を中心に前年同期よりも増加しました。また、通信事業者からの店舗評価が前年同期と比べて向上し、この評価に連動した携帯電話販売の手数料収入が増加したほか、通信事業者が注力する「電気」及び「クレジットカード」等契約の取次ぎに注力し、副商材の手数料収入も増加しました。これらの結果、売上高及び売上総利益は前年同期と比べて増加しました。販売費及び一般管理費は、直営キャリア認定ショップ数が増加したこと等により、主に人件費、販売促進費及び家賃等が前年同期より増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高76,959百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益3,288百万円(同43.9%増)、経常利益3,317百万円(同43.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,223百万円(同47.8%増)となりました。

[ご参考：キャリア認定ショップ数]

当社グループが運営するキャリア認定ショップ数は、2019年9月末時点で330店舗となりました。

(2019年9月末時点)

	直営店	フランチャイズ	計
ソフトバンクショップ	231	60	291
ドコモショップ	8	-	8
auショップ	7	-	7
ワイモバイルショップ	21	2	23
UQスポット	1	-	1
合計	268	62	330

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、42,016百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,922百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が5,304百万円、売掛金が859百万円増加した一方で、たな卸資産が4,083百万円減少したことによるものであります。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、18,943百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,185百万円増加しました。これは主に、その他流動負債が691百万円、未払法人税等が412百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、23,072百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,736百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加2,223百万円、前連結会計年度決算に係る期末配当及び当連結会計年度の中間配当の実施による利益剰余金の減少481百万円によるものであります。

また、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント増加し、54.9%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期第3四半期累計期間における業績を踏まえ、2019年2月12日に公表しました通期業績予想及び期末配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2019年11月6日)公表の「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,872,542	20,177,518
売掛金	11,133,179	11,992,645
たな卸資産	8,310,056	4,226,728
その他	416,937	461,308
流動資産合計	34,732,715	36,858,199
固定資産		
有形固定資産	1,454,712	1,689,863
無形固定資産		
のれん	181,720	423,353
その他	50,578	55,344
無形固定資産合計	232,299	478,698
投資その他の資産		
敷金	1,799,738	1,947,502
その他	874,081	1,041,747
貸倒引当金	△150	-
投資その他の資産合計	2,673,669	2,989,250
固定資産合計	4,360,681	5,157,812
資産合計	39,093,397	42,016,012
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,563,940	9,268,401
未払法人税等	453,336	865,481
賞与引当金	296,258	653,621
その他	1,807,645	2,499,128
流動負債合計	12,121,181	13,286,631
固定負債		
長期借入金	5,014,802	5,014,802
退職給付に係る負債	7,345	7,345
資産除去債務	402,526	442,081
その他	211,907	192,817
固定負債合計	5,636,581	5,657,045
負債合計	17,757,762	18,943,677
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,148,322	1,148,322
資本剰余金	1,872,489	1,872,489
利益剰余金	18,920,044	20,662,776
自己株式	△611,148	△611,515
株主資本合計	21,329,708	23,072,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,926	262
その他の包括利益累計額合計	5,926	262
純資産合計	21,335,634	23,072,334
負債純資産合計	39,093,397	42,016,012

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	71,585,373	76,959,973
売上原価	57,233,976	58,790,644
売上総利益	14,351,396	18,169,329
販売費及び一般管理費	12,066,125	14,880,518
営業利益	2,285,271	3,288,810
営業外収益		
物品売却益	112	13,109
店舗出店等支援金収入	7,489	888
投資事業組合運用益	9,234	5,798
助成金収入	6,110	8,977
その他	7,374	7,499
営業外収益合計	30,320	36,273
営業外費用		
支払利息	5,985	6,055
その他	1,049	1,740
営業外費用合計	7,035	7,796
経常利益	2,308,557	3,317,287
特別利益		
受取補償金	-	24,575
固定資産売却益	4,493	2,182
投資有価証券売却益	6,053	-
特別利益合計	10,547	26,757
特別損失		
減損損失	-	2,847
店舗等撤退費用	9,760	7,315
退職給付制度移行損失	25,519	-
その他	600	125
特別損失合計	35,879	10,289
税金等調整前四半期純利益	2,283,224	3,333,755
法人税、住民税及び事業税	747,322	1,247,699
法人税等調整額	31,270	△137,701
法人税等合計	778,592	1,109,998
四半期純利益	1,504,631	2,223,757
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,504,631	2,223,757

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,504,631	2,223,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	985	△5,664
その他の包括利益合計	985	△5,664
四半期包括利益	1,505,617	2,218,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,505,617	2,218,093

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。